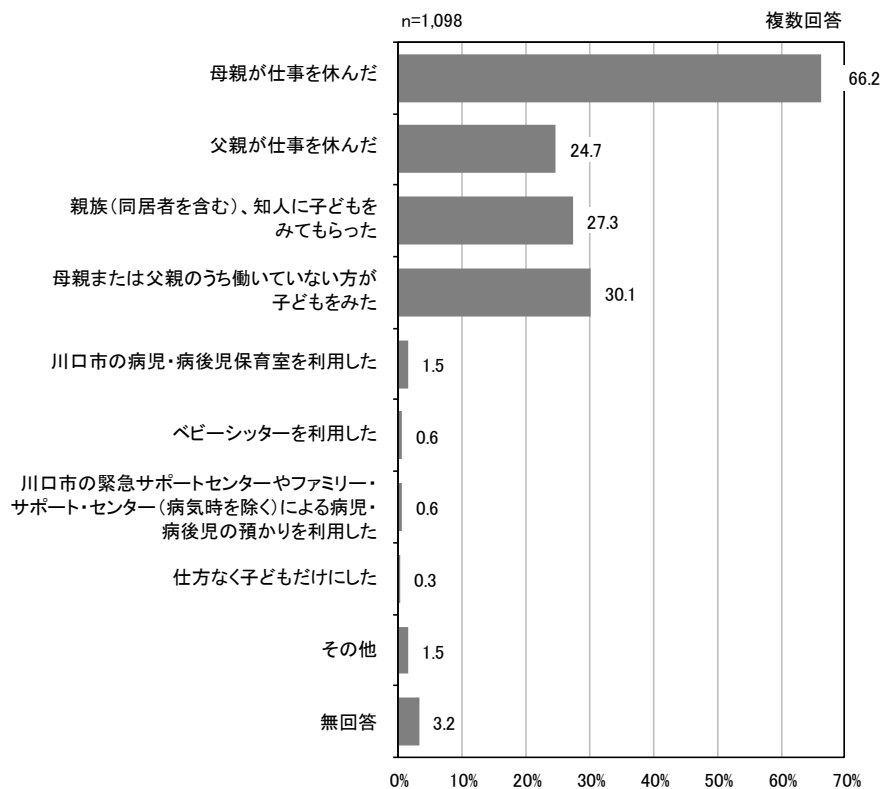


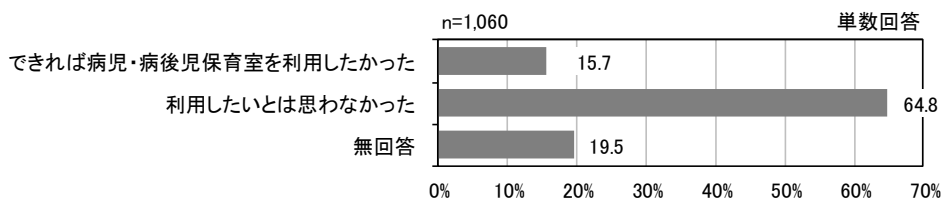
(5) 病気のときの対応について

● 病気やケガで幼稚園や保育所などや小学校を休んだ際の対処方法として「川口市の病児・病後児保育室を利用した」方は【就学前】、【小学生】ともにわずかとなっています。また、「川口市の病児・病後児保育室を利用した」以外の対応をした方が「病児・病後児保育室を利用しなかった」割合は、【就学前】で1割半ば、【小学生】で約3%となっており、病気の際は親が対応した方がよいと考えている保護者が多いことがうかがえます。一方で、制度自体が十分に周知されておらず、利用に結びついていないことがうかがえます。

【就学前・病気やケガで幼稚園や保育所などを休んだ際の対処方法】

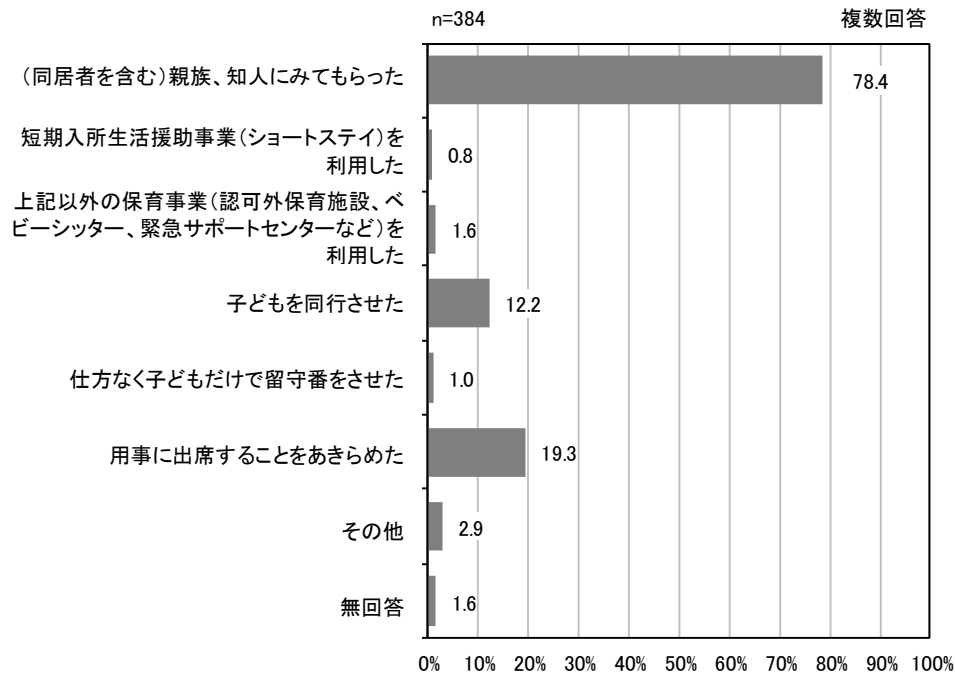


【就学前・「病児・病後児保育室を利用しなかった」割合】



- 保護者の用事などで、子どもを泊りがけで誰かに預けなければならないことがあった際の対処方法については、「(同居者を含む)親族、知人にみてもらった」が78.4%と最も多く、「短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した」、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」との回答はわずかですがみられています。

【就学前】



【小学生】

